

令和4年度 特色ある道徳教育推進校
館山市立第一中学校

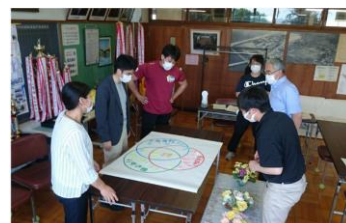
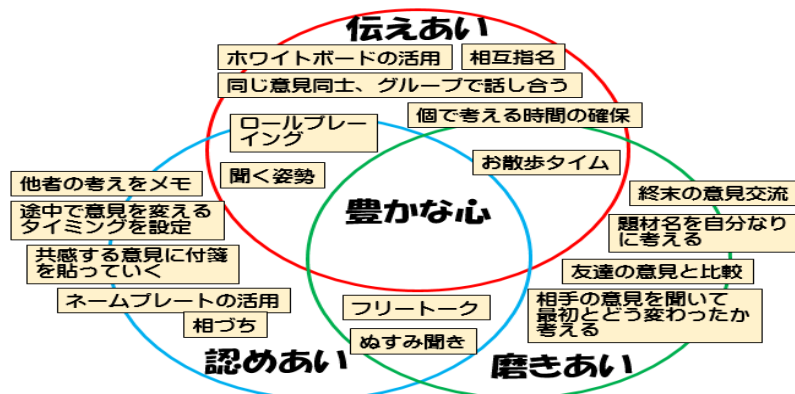
研究主題

豊かな心を育て、主体的に取り組む生徒の育成
～「3つのあい」を取り入れた、「考え、議論する道徳」を通して～

取組1 「考え、議論する道徳」の授業展開の工夫

①「3つのあい（伝えあい・認めあい・磨きあい）」に対する手立て・工夫

「考え、議論する道徳」を充実させるために、「3つのあい」を意識した活動を取り入れた。以下のような手立てや工夫を教材の特性やねらいを考慮して、毎時間取り入れた。



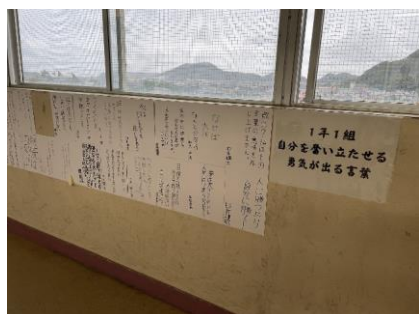
研修の様子

②「3つのあい」の振り返り

生徒に、毎時間「3つのあい」を意識して取り組めたか、授業の終わりに自己評価させた。そうすることで、生徒たちの道徳性が育ち、豊かな心が養われ、物事に主体的に取り組もうとする態度が身に付くと考えた。

③掲示物の工夫

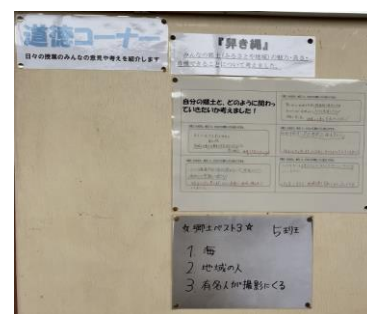
各学年、道徳の授業後にも学習した内容が振り返られるように板書の写真や、生徒のワークシートなどを掲示した。授業後に改めて内容や仲間の意見を確認することで、道徳性を高めるとともに、仲間の意見を認め、そして自分の考えを磨くことにつながると考えた。



<1学年>
自分を奮い立たせる勇気が出る言葉



<2学年>
授業のテーマ、板書、ワークシートを掲示



<3学年>
主発問に対する生徒の考えを掲示

取組2 学校教育活動全体の中の道徳教育

「教師側から仕掛けること」という視点で、学校教育活動全体の中で何ができるか考えた。

①全校集会での成績報告

部活動や授業での成果を、表彰ではなく生徒自身が全校生徒に向けて報告する取り組みを行った。大会名や取り組み方、今後の抱負を話し、全校生徒が拍手で讃えた。自分の成績を仲間に伝え、仲間が認め、互いに磨き合う要素が含まれている。



②読み聞かせ

感情を豊かにすること、想像力を育むことを目的に定期的に各学級で実施した。生徒がこれまでの生活と関連させて考えられるよう、絵本の内容を厳選して行った。読み聞かせの後には、互いに感想を伝え合う場を設定した。



取組3 特別活動を生かした道徳教育の充実

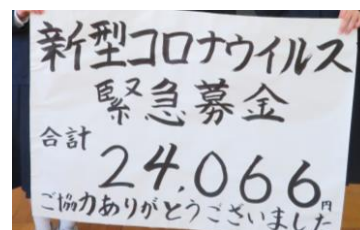
「生徒が主体となって取り組むこと」という視点で、生徒会活動を通してどのような取組ができるかを生徒と共に考えた。

①あいさつ運動

生徒会本部を中心に校紀部と協力し、挨拶であふれる学校を目指して、実施場所や実施方法を考えて毎日行った。挨拶を通して、コミュニケーション力を育むとともに、人間関係を構築し、互いに意見を言い合える関係が作れると考えた。

②募金活動

支援を必要としている人たちのことを理解できるよう、生徒会本部が中心となり呼びかけ、間接的でもできることとして、「新型コロナウイルス緊急募金」、「赤い羽根共同募金」を実施した。



主な成果と課題

- 授業の中で「3つのあい」を意識した手立てや自己評価を取り入れたことで、全体的に生徒の「伝えあい・認めあい・磨きあい」の意識を高めることができた。
- 教材の内容によっては、議論というよりも発表のみになってしまう時があった。授業者が、生徒の意見をつなぐ役割を常に意識することが大切である。

授業実践事例

中学校 3年1組 道徳学習指導案

令和4年11月15日(火)

- 1 **主題名** きまりの意義【内容項目 C 遵法精神、公德心】
教材名 「二通の手紙」 出典:「とびだそう未来へ」(教育出版)
- 2 **ねらい**


元さんの懲戒処分について考えることを通して、規律ある安定した社会のために必要なきまりの意義について理解し、主体的にきまりを守ろうとする態度を育てる。


3 主題設定の理由

元さんの行動は姉弟の母親から感謝されるなど、心情的に理解できるものである。しかし、一方で多くの人に迷惑をかけ、一つ間違えれば大きな事故につながる行為でもあった。元さんが貰った母親からの「感謝の手紙」と動物園からの「懲戒処分の通知書」の二通の手紙を基に、きまりの意義について深く考え、きまりを守ることで規律ある安定した社会が実現することを理解させていくことが大切である。

本学級は、学校や学級のきまりが定着している生徒は多い。だが、その一方、「きまりだから守らないといけない」など、仕方なく従い、きまりを窮屈なものとして捉えていたりする生徒もいる。本教材を通して、きまりの意義を正しく理解させ、主体的にきまりを守ろうとする気持ちを育てたいと考え、本主題を設定した。

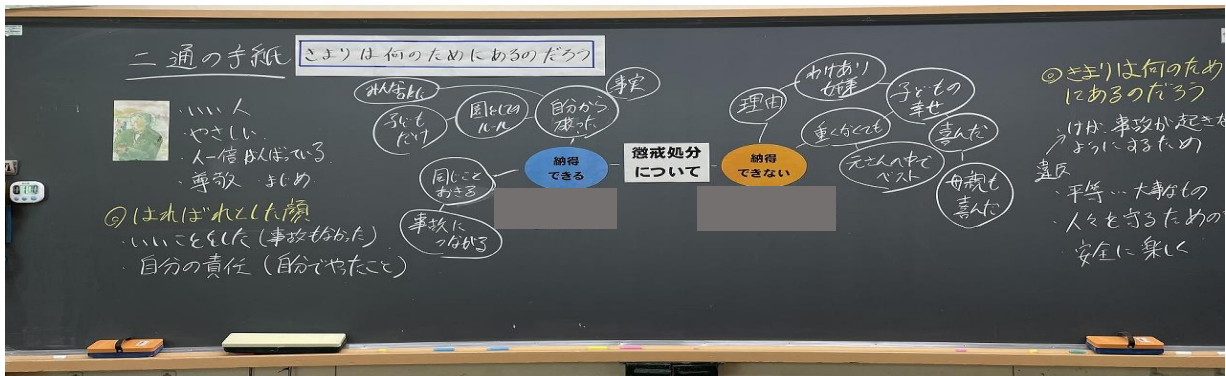
4 展開

過程	学習活動と 主な発問 (○)	予想される反応 (・)	指導上の留意点 (・) 評価 (★)
導入 (5)	1 きまりについて考える。	○きまりに対してどんな印象がありますか。 ・守らないといけないもの	・事前にきまりに対するアンケートを取り、結果を全体で確認する。 ・破ってしまった経験を共有して教材につなげる。
展開 (40)	2 教材の内容について確認する。	○元さんの人柄について。 ・優しい ・仕事に一生懸命 ○姉弟を入園させた元さんの判断についてあなたは どう思いますか。 ・姉弟のことを考えると元さんは優しいと思う。 ・安全を守るためのきまりを破ったのでよくない。	・元さんの働きぶりや同僚からの印象を確認する。 ・姉弟が見つかった時、元さんはどんな気持ちだったか考えさせる。 ・姉弟の動物園に対する気持ちと動物園でのきまりについて確認した上で発言させるようにする。
きまりは何のためにあるのだろう			
3	元さんに対する「懲戒処分」について話し合う。 	○元さんに対する「懲戒処分」について、あなたは どう思いますか。 <納得できない> ・姉弟もその母親も喜んで るので、罰を受けるのはお かしい。 <納得できる> ・どんな理由があろうとき まりを破ったからしかたが ない。	・ポジショニングを利用し、 自分の立場をはっきりさ せる。 ・自分の考えに対する理由も 説明できるようにワーク シートに記述させ、発表さ せる。(伝えあい) ・生徒の意見をウェビングマ ップでまとめ、自分の意見 と仲間の意見のつながり や相違点が見えるように する。(認めあい)
映像資料参照			
4	元さんのはればれとした顔について考える。	○元さんがはればれとした 顔で職場を去っていった のはなぜだろう。	・ポジショニングで出した意見 を基に、元さんの気持ちを 考えさせる。

 <p>5 きまりの意義について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姉弟を危険な目にあわせていたかもしれないと思ったから。 ・きまりを破り、動物園の職員に迷惑をかけたことを反省している。 <p>○きまりは何のためにあるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全のためにある。 ・例外をつくらない、ずるいことをしないようにするためにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元さんの人柄や働きぶりを振り返り、考えさせる。 <p>・仲間の意見から気付いたことをワークシートに記述させる。</p> <p>★きまりの意義について深く考えることができたか。(ワークシート、発言)</p>
<p>終末(5)</p>	<p>6 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>○本時の授業で気付いたこと、感じたことをワークシートに記入する。</p> <p>・ワークシートを机に置き、自由に歩きながら仲間の記述した考えや意見を見合う。(磨きあい)</p> <p>★きまりを主体的に守ろうとする気持ちを持てたか。(ワークシート)</p>

5 授業の様子

(1) 板書



(2) 生徒のワークシートの記述内容

(授業を通して感じたこと、気づいたこと)

自分の感情だけでやってしまうと、その人にとっては良いこととしたとしてもいけないけど、平等じゃないから、きまりがあると思ってる。

(授業を通して感じたこと、気づいたこと)

生きていくうえで、きまりがなくなってしまうと大変なことになるのは、たとえ思っても心にはきまりをわかってほしい。

(3) 授業における生徒の様子

- ポジショニングにより、自分の立場をはっきりさせたことで、自分の意見を持ちやすくなり、互いに意見を伝え合うことができた。
- ウェビングマップにまとめることで、生徒同士の意見の相違点をはっきりし、互いに認め合うことができた。また反対側の意見を聞いて感じたことを発表することができた。